

平成 21 年 10 月 22 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

新規デコイオリゴの特許が成立(日本)

—NF- κ B と ets とのキメラ(ダブル)デコイが対象—

日本において NF- κ B と ets とのキメラ(ダブル)デコイを対象とする新規デコイオリゴの特許が成立し、特許公報(特許第 4346233 号)が発行されましたことをお知らせします。

本特許は、NF- κ B および/または ets によって制御される遺伝子の発現に起因する疾患を治療する新たな医薬を提供するものであり、従来の NF- κ B デコイに増して強力な抗炎症作用が期待されるキメラ(ダブル)デコイを対象とするものです。

より具体的には、2つの転写因子を抑制するため2つの結合部位を持つデコイオリゴであり、同時に2つの転写因子を抑制しますので、それだけ有効性が増すこととなります。しかも製造コストは従来の結合部位が一つのデコイと同等であり、2つの転写因子に対するデコイを併用するのに比べ、コストが約半分で済むメリットがあります。さらに安全性に関しても、併用と比べ有利であると考えられます。

また適応症として、大動脈瘤、脳動脈瘤などの各種動脈瘤を対象としております。

なお動脈瘤とは、血管壁が薄くなって膨らむ病態であり通常は無症状ですが、突然破裂することにより死亡に至る危険がある恐ろしい病気です。高齢者に多い疾患ですが、最近では超音波による検診が一般化してきたこともあり、患者数が増えています。現在は外科手術により対応していますが、一定の大きさにならないと処置できないため手術可能な大きさになるまで経過観察することになり、この間に突然破裂する心配がありました。

本発明においては、動脈瘤の発症原因である炎症とマトリックスの分解に関与する転写因子 NF- κ B と ets を同時に抑制することにより、外科手術を必要とせず、動脈瘤を内科的に治療できることが期待されます。

なお当社は、米国、欧州などにおいても本発明にかかる特許を登録済みであり、国際開発をカバーしております。

以上